



2027年度

関西学院大学大学院人間福祉研究科入学試験【第1次】

【博士課程前期課程】

正規学生（一般・社会人・外国人） 専門

受験についての注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題を見てはいけません。
2. 問題用紙1部（本文1ページ）、解答用紙4枚が配付されます。過不足があれば監督者に申し出てください。
3. 試験中に試験用紙の印刷の不鮮明、ページの欠落、乱れおよび解答用紙の汚れなどに気づいた場合は、監督者に申し出てください。
4. 監督者の指示に従って、解答用紙の該当欄に受験番号と氏名を正しく記入してください。
5. 解答はすべてHBの黒鉛筆またはHB 0.5mm以上の芯のシャープペンシルで記入してください。
6. 解答用紙は丁寧に扱ってください。
7. 解答は解答用紙の各問指定の箇所に記入してください。解答用紙の裏面にはいっさい記入してはいけません。下書きなどには問題用紙の余白を利用してください。
8. 解答用紙の枠外および問題番号と異なる番号のところに書かれた解答は、評価（採点）の対象としません。
9. 解答中以外の解答用紙は必ず裏返しに置いてください。
10. 受験中は不審な行動をとってはいけません。不正行為をした場合、当該年度の入学試験のすべてを無効とします。
11. 試験開始後60分間と、試験終了5分前以降は退場できません。ただし、気分が悪いなど身体の調子が悪くなった場合は、監督者に申し出てください。
12. 監督者の開始合図と同時に試験を開始してください。
13. 監督者の終了合図と同時に解答をやめてください。
14. 問題用紙は試験終了後、持ち帰ってください。

I 日本では、リモートワークや時短勤務、育児・介護休業など、仕事と私生活の両立を支える制度が整備され、多様な働き方や休暇制度が広がっている。しかし、仕事と生活を両立することは依然として容易ではない。そこで、人間福祉の視点から職場におけるウェルビーイング(心身および社会的な幸福)を阻害している要因を挙げ、その解決に向けた方策と取り組みについてあなたの専門領域の知見を踏まえて 1000 字以内で論じなさい。(40 点)

II 次の設問のうち、1つを選択し、500 字以内で解答しなさい。なお、選択した設問の番号を解答用紙に記入すること。(30 点)

1. 認知症高齢者や知的障害者、精神障害者など判断能力が十分でない人々に対する近年の権利擁護の取り組みについて説明し、その意義と課題を社会福祉の視点から論じなさい。
2. 人口減少や少子化高齢化などに伴う問題を解決するために、二地域居住の推進や、ふるさと住民登録制度の設置など関係人口創出を目指した地方振興の施策が推進されている。関係人口の創出を実現するための課題と方策について、あなたの専門領域から述べなさい。
3. 超高齢社会を迎える日本において、グリーフケアが果たす役割について論じなさい。
4. 世界的な薬物乱用に鑑み、スポーツ界におけるドーピング問題が強く否定される理論的根拠についてスポーツ科学的視点から論じなさい。

III 次の用語から 3つ選択して、それぞれ 200 字以内で説明しなさい。なお、選択した用語の番号を解答用紙に記入すること。(30 点)

- 1 レジリエンス
- 2 動作解析
- 3 運動療法
- 4 ロジックモデル
- 5 社会関係資本
- 6 休眠預金等活用制度
- 7 QOL
- 8 多文化共生
- 9 終末期ケア
- 10 運動処方
- 11 8050 問題
- 12 エンバーミング

出題の意図

I

人間福祉やその関連領域における最新のテーマや動向(ウェルビーイング実現に向けたワーク・ライフ・バランスの福祉的課題と改善方策)についての志願者の基礎的な知識・理解がどの程度か、また、そのテーマ・動向についての志願者の解釈や意見が論理的に展開されているかを問う。人間福祉とは何かについて志願者なりの説明がなされた上で、または志願者の研究テーマの内容について志願者なりの説明がなされた上で記載されているとなお良い。

II

人間福祉の4つの専門領域(保健体育を含む)から1つ選び、それについて、基礎的な知識・理解の程度がいかなるものか、また志願者の解釈や意見が論理的に説明できるかを問う。

III

人間福祉に関連する基礎的な専門用語についてどこまでその内容を正しく理解できているか、及び理解している内容を論理的に説明できるかを問う。

解答 (または解答例)

I

上記の意図に沿って、指定された文字数の範囲(1000字)で①基礎的な知識・理解の程度、②志願者の解釈の内容の正確さ、及び③自分の考えを論理的に述べることができるか否かを基準にして採点する。

II

人間福祉の3つの専門領域(保健体育を含む)から1つ選択した問題について、その出題意図に沿って、指定された文字数の範囲(500字)で、①志願者の基礎的な知識・理解の程度、②志願者の解釈の内容の正確さ、及び③自分の考えを論理的に述べることができるか否かを基準に採点する。

III

指定された文字数の範囲(200字)で、出題の意図に沿って当該語句についての①基礎的な知識・理解の程度、②論述力に基づいて採点する。